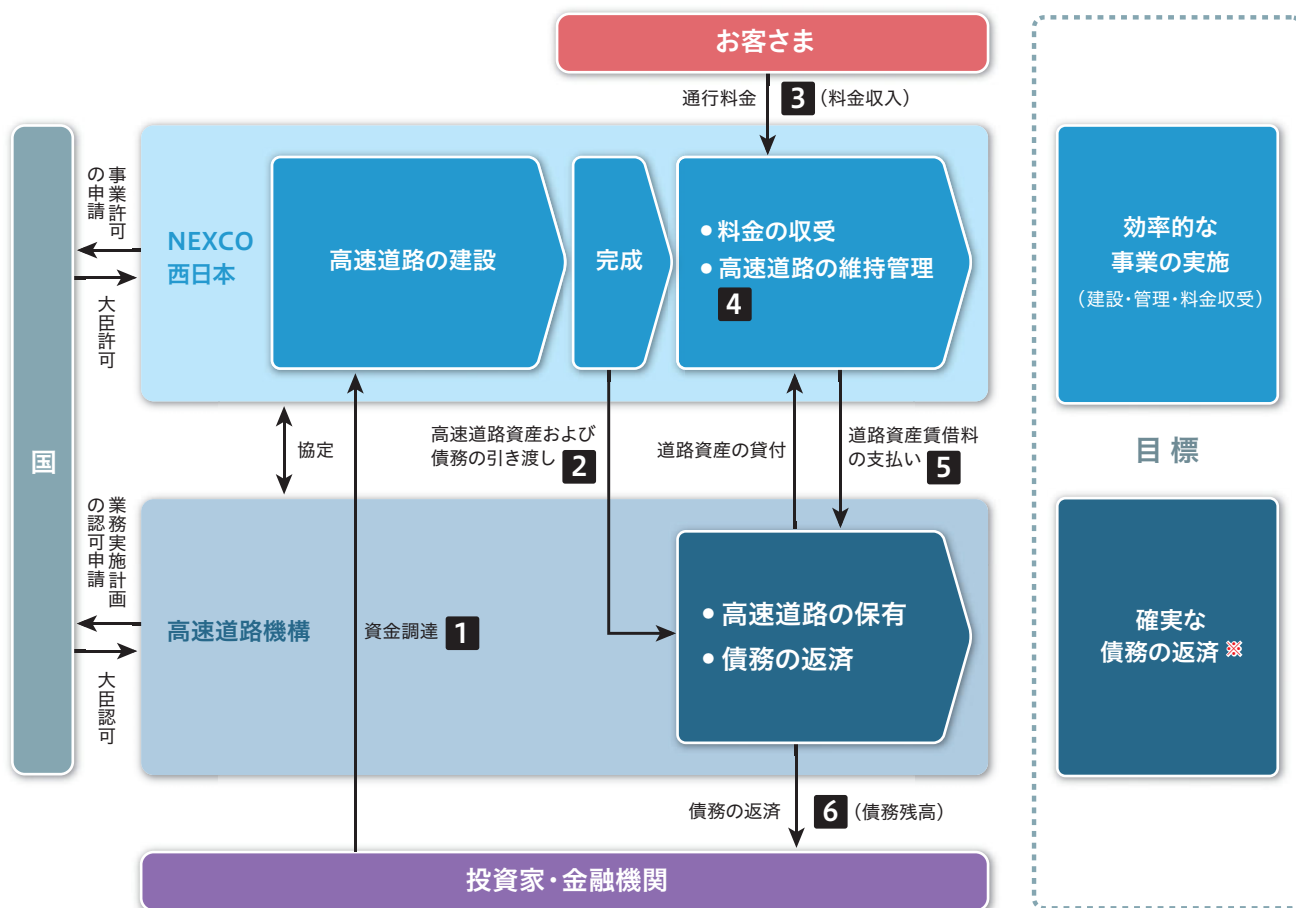


NEXCO西日本グループの事業

NEXCO西日本グループは、高速道路の建設と安全かつ効率的な運営管理、お客さま満足度の向上を目指すSA・PAの運営管理を主な事業とすると同時に、国民の皆さまの資産である高速道路の価値を最大化するべく、新しい価値の創造に取り組んでいます。お客さまからいただく通行料金は、高速道路機構への道路の賃借料の支払いおよび管理費用に充てられます。

高速道路事業(建設・運営管理)の実施スキーム

数字 ①は次ページのグラフに対応



※ 新規事業等の追加、新たな料金水準、消費税率の料金への適正な転嫁等を実施する必要がある場合は、確実な債務返済を確認し、協定および業務実施計画を適正に見直し

高速道路の建設と運営管理

当社の行う高速道路のプロジェクトでは、道路整備特別措置法(第3条)に基づく事業許可申請を行い、国土交通大臣から事業許可を得たのち、資金を調達し、地元協議、用地取得を行います。その後、沿道地域への工事説明を行い、安全と環境に配慮しながら、コストを削減しつつ工期を短縮し、高速道路の早期開通を目指します。

完成した道路資産は、高速道路機構に譲渡して、以降は協定に基づき当社が管理・料金収受の業務を行います。お客さまからいただく料金は、高速道路の公共性に鑑み、当社の利潤を含めないことを前提としており、料金収入は高速道路機構への道路の賃借料の支払いおよび管理費用に充てられます。

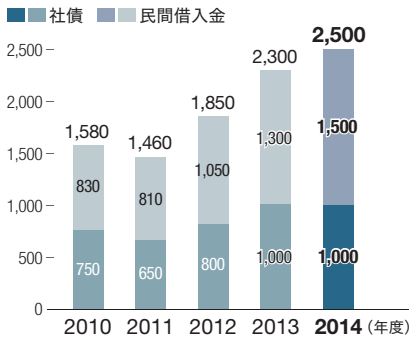
SA・PAの運営管理

SA・PAの運営管理では、レストランや売店等のテナント会社と協力して、くつろぎ、楽しさ、賑わいなどを創出しています。また、2013年度から、地域と連携した取り組みをSA・PAで新たに実施するなど、お客さまと地域の皆さまに新たな価値を提供しています。

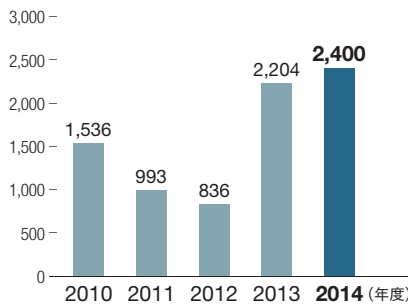
当社グループは、高速道路機構との連携のもとで、こうした高速道路事業および関連事業を通じて高速道路の社会的インフラとしての使命を果たすとともに、お客さま、地域社会、投資家と国民の皆さま、お取引先、グループ社員といったステークホルダーに対する社会的責任をグループ一体となって遂行しています。

主な経営指標

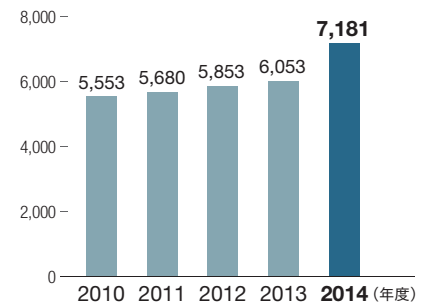
1 資金調達額 (単位: 億円)



2 道路資産完成高 (単位: 億円)



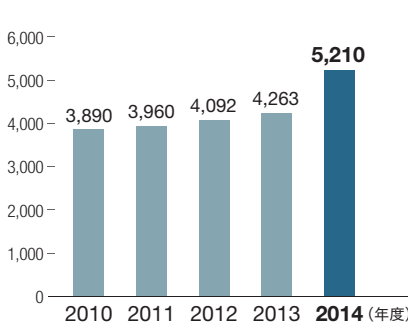
3 料金収入 (単位: 億円)



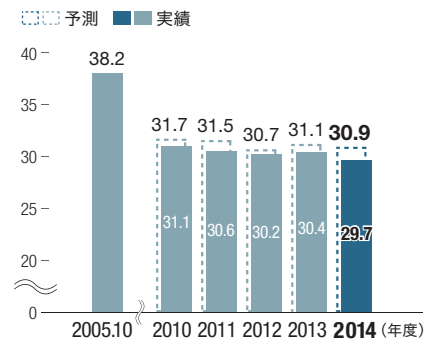
4 管理費用 (単位: 億円)



5 道路資産賃借料 (単位: 億円)



6 高速道路機構の債務残高* (単位: 兆円)



*全国路線網(NEXCO3会社)、首都高速道路、阪神高速道路、本州四国連絡高速道路、および全国路線網以外の一般有料道路を含む

民営化スキーム

当社は、右の3つを目的とする旧道路関係4公団民営化において、旧日本道路公団(JH)の3分割により2005年10月1日に設立されました。

なお、道路関係4公団は下図のとおり、高速道路資産を保有し、その債務の返済を実施する高速道路機構から、高速道路資産を借り受け、運営管理を実施する6会社に分割されています。

民営化の目的

1. 旧道路関係4公団合計で、約40兆円にのぼる有利子債務を確実に返済すること。
2. 必要な道路を、会社の自主性を尊重しつつ、早期に、できるだけ少ない国民負担のもとで建設すること。
3. 民間企業のノウハウを發揮し、多様で弾力的な料金設定を実現し、お客さまに多様なサービスを提供すること。

